

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表日：2026年2月17日

事業所名：児童発達支援 アイビークッズ越中島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	必要に応じて年1回の仕切りを使う等工夫しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	職員が足りない時は、グループで行ったりしています。	欠勤発生時の連絡フローの明確化。他教室からの応援も改めて検討してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	どこで微細調整をするか、どこで運動をするかを仕切りを使って分りやすくしています。程差がなくフラットな空間になって過ごしやすい環境になっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日必ずスタッフが掃除を行い清潔な空間を保っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		机の仕切りが小さい部屋のようにしている為、クールダウン場所になります。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5		月に一回、目標の設定と振り返りがあります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向や要望を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価のアンケートを口頭やプリントで周知し、より多くの意見を聞くよう意識しています。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ケース会議を定期的(月1回)に行い業務改善の話し合いをしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	入社してからその機会がなかったのだからない。	個人情報保護の観点から第三者評価は実施しておりません。
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部の先生や本社から月に数回研修の機会がある為、勉強になっています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		療育前にプログラムを保護者に公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントを取り、児発管が支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ケース会議を全員で行いお子さんの為に話し合っています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		必ず支援計画の内容が入るよう立案しています。迷ったり不安になった際に、相談して連携を取っています。	
	15 こどもの適応行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわら及び支援内容も読み易いながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		前回の担当の人に様子を聞くようにしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	固定しないよう工夫しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動での課題にアプローチできるような支援計画の作成をしています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		小集団は全体の打ち合わせとは別に前日までに担当者と細かい打ち合わせをしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	5		昼礼と終礼で必ずお子さんの共有を行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		必ず記録を書いています。必要に応じて改善の提案を記しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	4	1	
25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5		面訪問を行っています。	
26 研習利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、関係機関や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等と連携し、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5			
27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		4	1		
28 [28~30は、センターのみ回答] 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上を目指す取組等を行っているか。					
29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30 [自立支援]協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31 [31は、事業所のみ回答] 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。		4	1		
32 療育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2	3		交流機会の確保は、お子様の社会性の発達やインクルーシブ地域づくりの観点からも大変重要だと認識しております。今後、検討してまいります。
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		5		振り返りの際、本日の様子やお子さんの様子を週ごとに伝えたり質問し、共通認識を深める努力をしています。	
保護者への説明等	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		その日のプログラムをどのような形だったのか、出来なかったものに対して、どのようなアプローチを行ったのか伝えています。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先の観点から踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	5		児発管が事前の面談で意向を聞いています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		説明後、同意と署名をもらっています。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		その場で答えられない相談内容は答え、検討が必要な物は安易に答えず持ち帰り、スタッフに共有してから伝えるようしています。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		卒業生が来て交流の場を設けています。保護者や就学相談など保護者同士が話せる場を作っています。	
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41 定期的な通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		アプリを用いて行っています。	
	42 個人情報取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の観点から事務所の個人ファイルの箱に目隠しを施し、外から見えないようにしています。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて、身支度の視覚提示を行っています。	
非常時等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	実施したことがありません。	地域の施設への訪問など、子どもたちの安全安心な環境を守りながら、地域との繋がりを育んでまいります。
	45 事前防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		避難訓練を実施し、改善案を話し合いました。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬について保護者から話があった際に共有しています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	4	1	この事業所では食事を提供しておりません。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分に行われて支援が行われているか。	5		研修で実際に注意点を学ぶことができています。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	5			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	1		
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			